

平成30年3月

保護者のみなさまへ

高槻市立芥川小学校
校長 岡田 光博

平成29年度 学校評価について（お知らせ）

早春の候、保護者・地域の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。この一年間、本校の教育活動に対して、多大なるご理解とご協力を賜り、教職員一同心より感謝申し上げます。

さて、平成29年度も、高槻市教育委員会の「地域と連携した特色ある学校づくり推進事業」を活用して、「確かな学力」と「豊かな人間性」、そして「健やかな心身」を兼ね備えた児童の育成に取り組んでまいりました。今年度の本校教育活動を振り返り、学校としての自己評価（学校評価）をまとめましたので、ご報告いたします。

今後も、全教職員が力を合わせ、よりよい学校づくりに邁進してまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様には、引き続きご理解・ご協力をお願い申し上げます。

1. 芥川小学校の学校教育目標・めざす子ども像

《学校教育目標》

『多くを学び、たくましいからだと大きな心、夢をもった子どもの育成』

《めざす子ども像》

・ しっかり学ぶ元気な子 ・ 自分も他人も大切にする子 ・ チャレンジする子

2. 本年度の重点的な取組内容および自己評価

① 「確かな学力」（知）の育成

今年度の重点目標	具体的な取組内容
(1) 小中一貫した学力指導の充実	★「授業を通してつながる子どもの育成」 ★全国学力・学習状況調査(6年)、市小学校学力・学習状況調査(5,6年)の結果分析と指導方法の改善。 ★障がいのある児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」の作成。 ★基礎的・基本的な知識・技能を定着させる指導方法の研究。 ★家庭学習、長期休みの宿題の充実と、自ら学び続ける力の育成。
(2) きめ細かな学習指導の充実	
(3) 自ら学び続ける力の育成	
(4) 外国語活動の充実	

	<p>★放課後学習（５年）、放課後子ども教室の開催。</p> <p>★次期学習指導要領改訂に向けた外国語活動の充実。</p>
<p>自 己 評 価</p>	
<p>□「授業を通してつながる子どもの育成」を小中連携の共通テーマに位置づけ、各校で一年間取り組みました。来年度も継続して取り組んでまいります。</p> <p>□子どもたちが主体的に授業に取り組む姿勢に重点を置きました。「個の学び」から「ペア（グループ）での交流」そして、「全体交流」、最後に「個の振り返り」につなげていく授業をめざして、今後も取組を進めてまいります。</p> <p>□全国学力・学習状況調査や高槻市小学校学力・学習状況調査（５，６年）においては、平均正答率が全国を上回るなど、好結果が得られました。ただ、それが学校での授業や家庭学習の成果であると、単純に言い切れない部分もあることを真摯に受け止め、今後も授業改善の取組を推進していきたいと考えています。</p> <p>□「ユニバーサルデザイン」を意識した授業や教室掲示のあり方を研究し、取組を進めてきましたが、今後もさらに継続して、研究に取り組んでまいります。</p> <p>□来年度から本格的に始まる「外国語活動」については、今年度時間をかけて準備してきました。子どもたちが楽しみながら外国語を学習し、習得できるよう、引き続き研究を重ねてまいります。</p>	

②「豊かな人間性」（徳）の育成

今年度の重点目標	具体的な取組内容
(1) 道徳教育の推進・充実	★道徳の教科化に向けたカリキュラム作成、別業作成、評価に関する研究。
(2) キャリア教育の推進	★道徳科において、重点的に指導する内容の検討。
(3) 学校や地域に愛着を持ち、地域社会に参画する力の育成	★義務教育９年間を通して、子どもたちが将来社会の中で自立していくために必要な能力や態度の育成。
(4) 組織的な生徒指導の推進	★総合的な学習の時間を利用しての、芥川商店街の方々との積極的な交流と、地域資源を活用した教育の実施。
(5) 人権教育の充実・推進	★いじめの未然防止、早期発見、対応の取組。
	★一人ひとりの思いや願いを大切にしたい、豊かな人間関係づくりの推進。
	★自分を認めることを通して、お互いの違いを認め合う子ども集団の育成。

自 己 評 価

- 平成 30 年度からの「道徳の教科化」については、具体的な評価方法の検討も含め、時間をかけて準備に取り組んでまいりました。道徳につきましては、文章表記による評価となります。教科書を活用しながら、なお一層の取組を進めてまいります。
- 「キャリア教育」については、地域資源を十分に活用して、3年生、5年生を中心に商店街の方々への聞き取りや、様々な職業の方々から話を聞く等の取組を進めてまいりました。学校教育自己アンケートの中で、「学校では自分の生き方や将来について考える機会がある」に対して、児童（5，6年）の回答が86%、保護者の回答は65%にとどまり、学校としての取組の発信がまだ十分ではないと感じました。今後、さらに発信の方法を検討していきたいと考えています。
- 組織的な生徒指導を心がけ、進めてまいりましたが、まだ十分に浸透していないところもあり、ご迷惑をおかけする場面がありました。今後は、さらに組織的な指導体制の確立を目指して取り組んでまいります。
- 学校教育自己アンケートの中で、「学校はお互いの人権を大切にすることを学ぶ機会がありますか」という質問に対して、児童（5，6年）の回答が83%、さらに保護者の回答は73%にとどまりました。この結果からもわかるように、さらなる取組の必要性を感じます。課題として捉え、検討してまいります。

③「健やかな心身」（体）の育成

今年度の重点目標	具体的な取組内容
(1) 体育授業の充実	★水泳指導方法の研究推進と泳力の向上。器械体操指導の充実。
(2) 運動に親しむ機会の充実	★体力を高めるための総運動量を増やす取組の推進。
(3) 生活習慣の定着を通じた健康づくり	★駅伝大会、サッカー大会、ミニバス大会、ロープジャンプ大会などへの積極的な参加と、体づくり週間を設ける等、運動に親しむ機会の充実。 ★食事の重要性、望ましい栄養や食事のとり方などの食育の実施。 ★保護者の方と連携した、給食試食会や体験料理教室等の実施。

自己評価

- 特に、水泳と器械体操（跳び箱）に力を入れ、体育の授業に入る前段階で、専門の指導員の講習を受講したうえで、授業に取り組みました。十分に成果が得られたと考えています。
- 運動に親しむ機会として、スポーツ大会への参加を積極的に行いました。クラブ活動のメンバーを中心にサッカー大会（12月、2月）、駅伝大会（2月）、ミニバスケットボール大会（2月）に参加しました。なお、今年度ロープジャンプ大会は開催されませんでした。体づくり週間については、「なわとび」に取り組みました。
- 栄養教諭を中心に、「食育」にも力を入れて取り組みました。給食試食会や体験料理教室へも積極的な参加をいただきました。